

－ 大阪市障害者スポーツセンターOSCDの任務と役割 － [平成22年度版]

# Sports for all

～ スポーツはすべての人のもの ～

いつでも どこでも だれでも だれとでも いつまでも



スポーツを通じた障害のある人とない人の 'つながりづくり'

**to live together = 共生**

大阪市長居・舞洲障害者スポーツセンター指定管理者

(社福) 大阪市障害者福祉・スポーツ協会

# － 障害のある人のスポーツの拠点施設と発信基地 －

## 大阪市障害者スポーツセンター O S C D

### 長居障害者スポーツセンター

- ★ 日本初の身体障害者専用
- \* 第2種社会福祉事業
- \* 障害者福祉センターA型

(1974 : S49)

長居障害者SC

累積利用 759万人

累積利用 259万人

舞洲障害者SC

(1997 : H9)

【コンセプト】・水平(段差なし) ・安全(明るく) ・案内利便

● 設立の趣旨 ⇒ 「体力の維持・増進、身体機能の回復と向上」 「社会参加と自立」

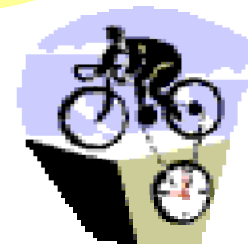
○ 基本構想 ⇒ ① 障害の種類や程度の別なく、すべての障害者と家族も利用

② いつ来ても気軽に利用、明日への希望の湧く施設

## 障害のある人とスポーツ

### ◆ スポーツの役割

1. 治療・訓練の一環としてのリハビリテーション
2. 体力の維持・増進、残存能力の向上
3. 障害や障害のある人に対する理解の促進
4. 障害のある人たちの自立と社会参加の促進



A. 障害のある人が、気軽に、だれとともに生活の中で楽しむスポーツ

B. 競技としてのスポーツ

## I スポーツ・レクリエーション活動の機会の提供

- a. スポーツ施設の個人利用者の指導
- b. スポーツ教室
- c. 自主事業
- d. スポーツクラブの育成と支援
- e. センタークラブや障害者団体主催の競技会を支援し、障害のある人(子ども)とない人の交流促進



## II スポーツ振興を担う人材の育成事業

- a. 障害者のスポーツ指導者養成とボランティア・サポーター育成の講習会の開催
- b. 実習生・研修生、体験学習を受入れ、人材育成と障害や障害のある人(子ども)への理解の促進

### 大阪市障害者スポーツセンター-OSCDの実施事業

## III 障害者のスポーツに関する普及・啓発事業

- a. 『大阪市/地域・障害者のスポーツ振興プロジェクト』の取組みの強化
- b. 『大阪市障害者スポーツミーティング』の開催
- c. 『大阪市障害者スポーツ大会』と『全国障害者スポーツ大会への選手団派遣』、  
『大阪市障害者スキー教室』、『国際親善車椅子バスケットボール大阪大会』など



## IV スポーツに関する相談事業(身体障害者福祉センターA型事業)

- a. スポーツ医事相談とスポーツ相談の実施
- b. 理学療法士によるリハビリテーション相談の実施
- c. 「長居・舞洲なるほど相談室」で生活・就労・教育などの各種相談事業の実施

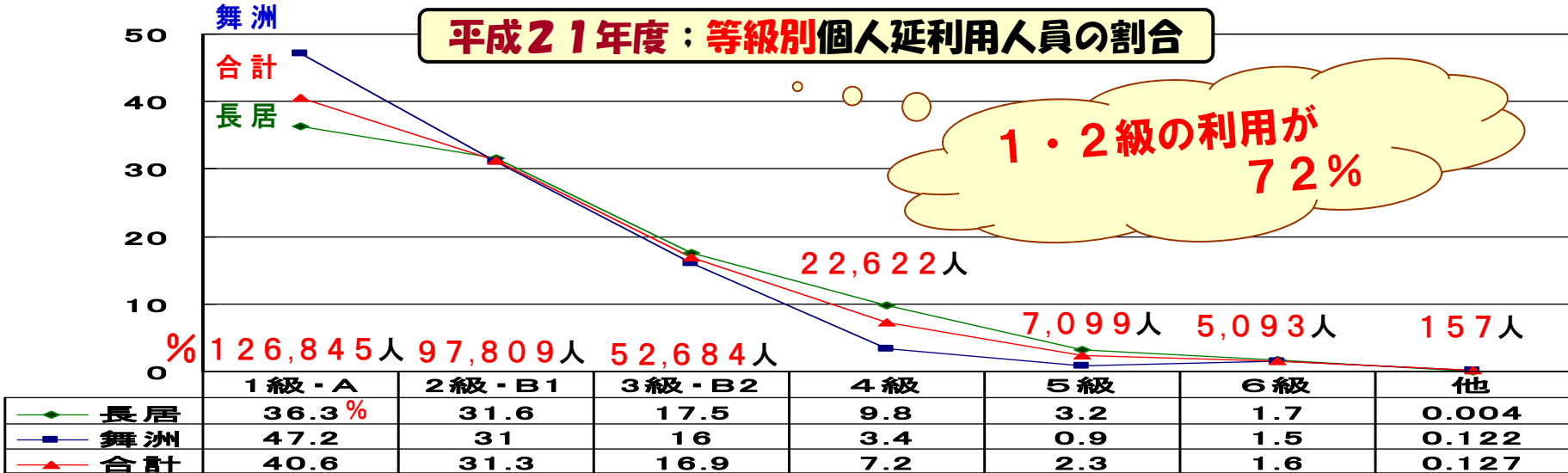
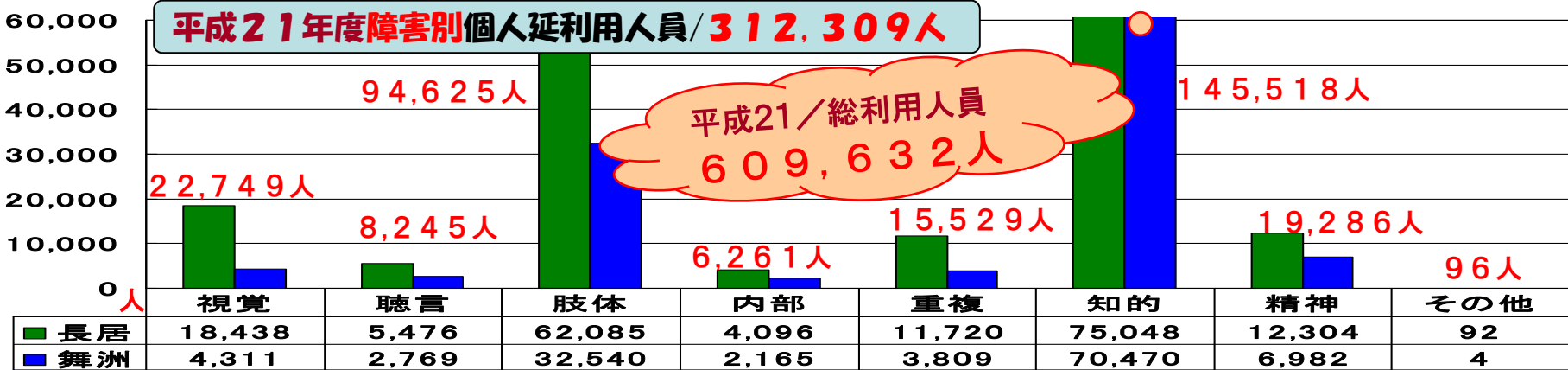


# 大阪市障害者スポーツセンターOSCDの利用状況 - 1

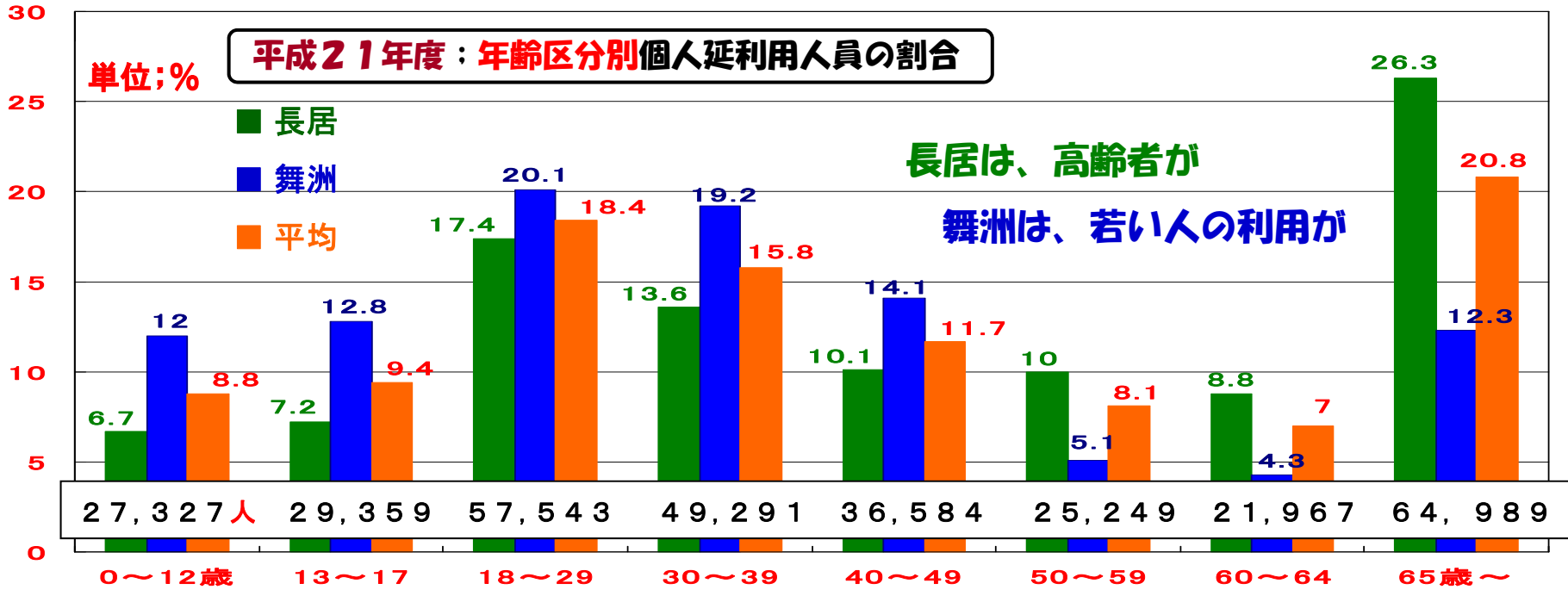


◆ **利用状況の推移** \* 介護者含む延利用人員総数(注;H18/長居SCDは3カ月間工事による閉館)

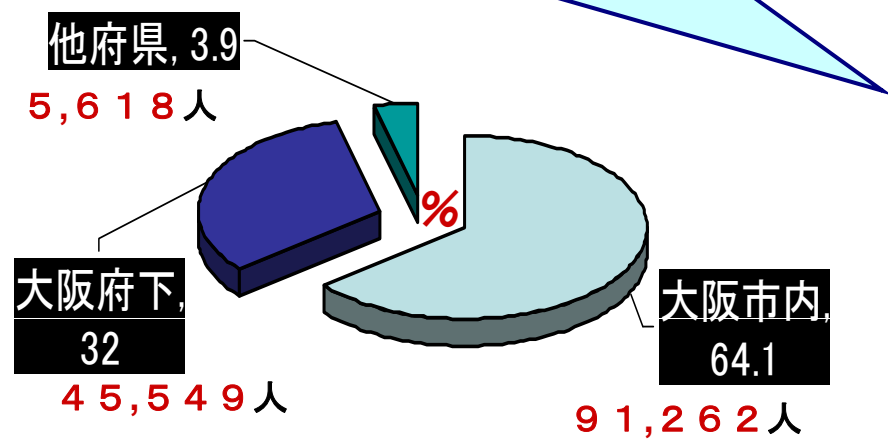
単位;人	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
長居	318,172	254,615	337,596	348,369	355,510
舞洲	259,079	271,133	250,535	247,093	254,122
合計	577,251	525,748	588,104	595,462	609,632



# 大阪市障害者スポーツセンターOSCDの利用状況 - 2

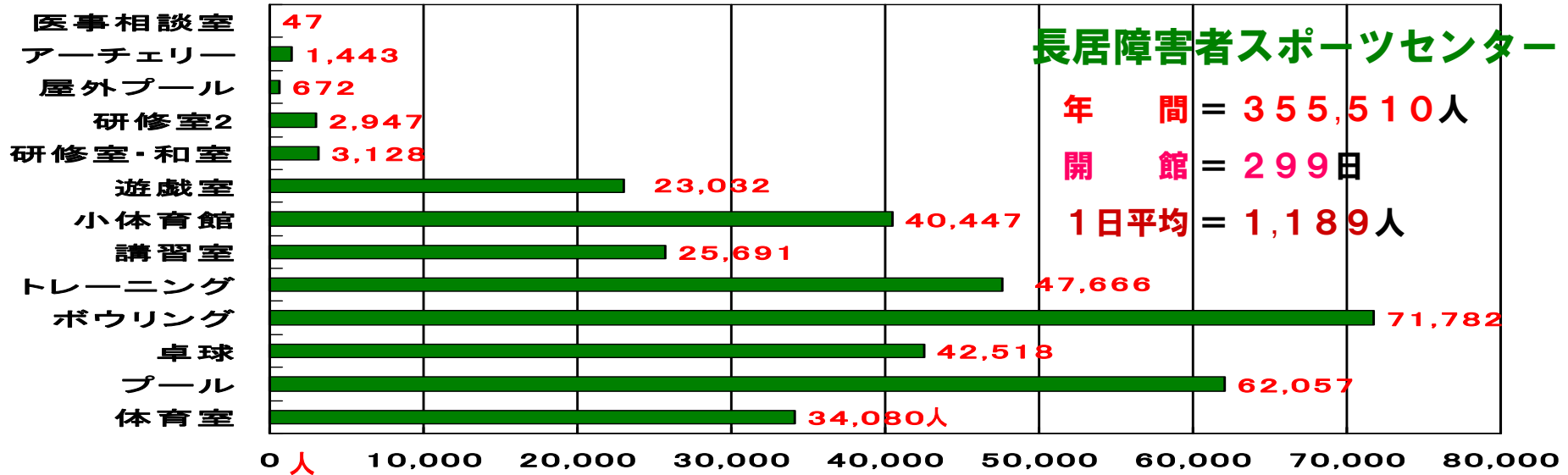


## 個人利用；地域別利用状況（平成21年度）



順位	長居 S C D	舞洲 S C D
1位	住吉区 16,234人	此花区 4,680人
2位	堺市 13,276	東大阪市 4,571
3位	東住吉区 11,487	堺市 2,781
4位	平野区 10,036	港区 1,771
5位	阿倍野区 6,121	平野区 1,733
6位	松原市 3,824	吹田市 1,733
7位	住之江区 3,636	大正区 1,712

■ 長居

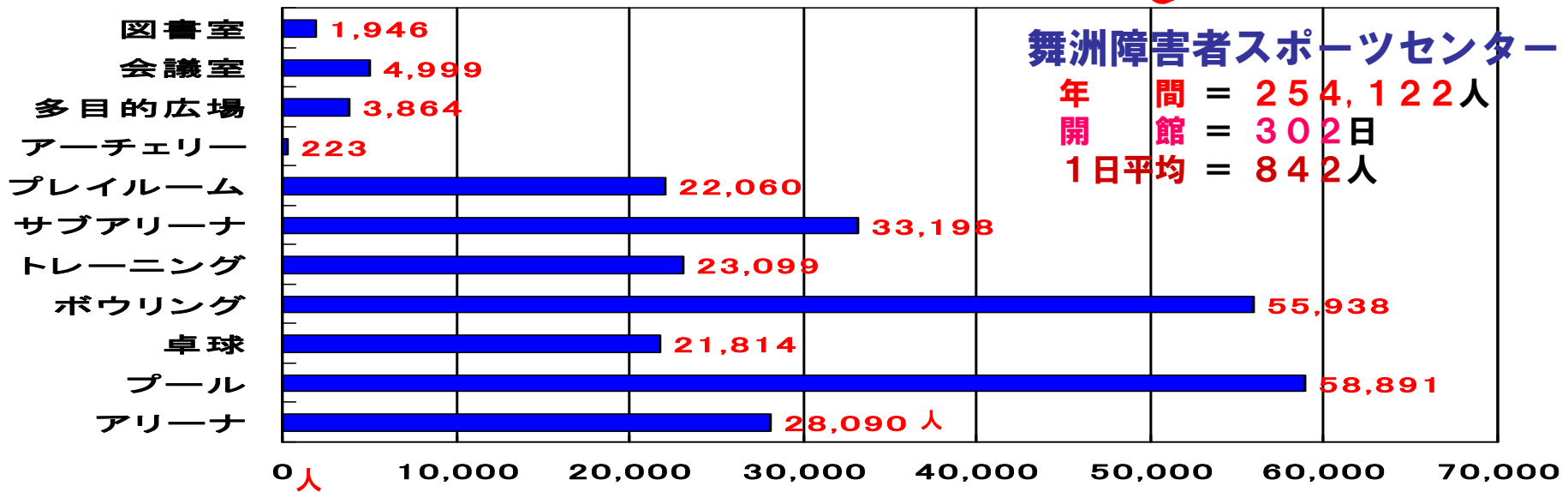


大阪市障害者スポーツセンターOSCDの利用状況 - 3

平成21年度



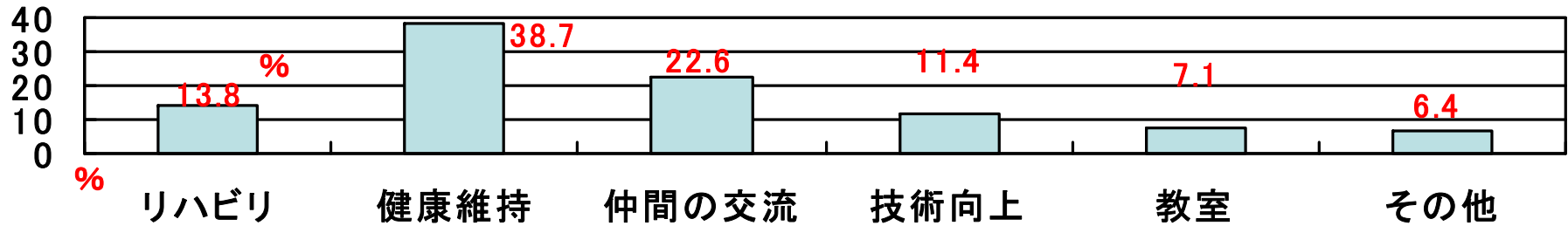
■ 舞洲



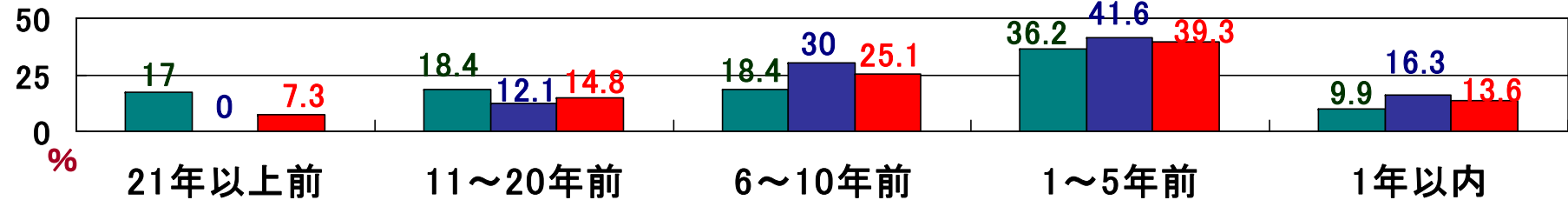
# 大阪市障害者スポーツセンター-OSCDの利用状況 - 4

● **利用目的**[複数回答]／長居[142件]+舞洲[203件]

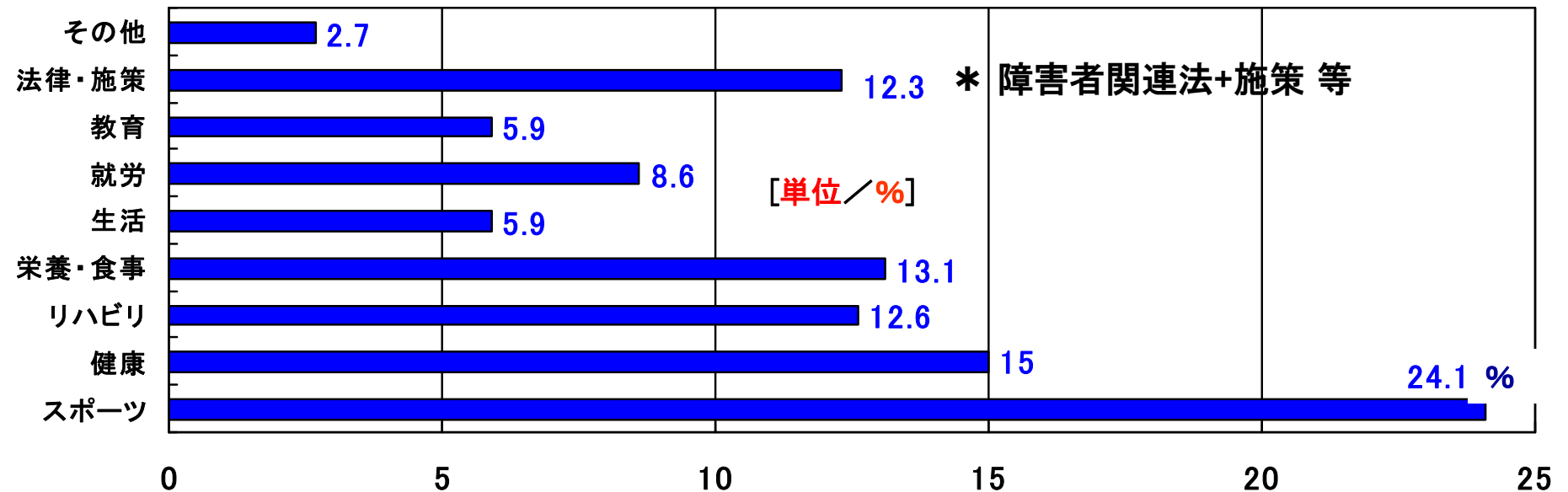
[個人利用者/H20年度アンケート調査結果より]



◆ **利用開始時期**／■ 長居 + ■ 舞洲 = ■ 合計



● **実施してほしい事業**[複数回答]／長居 [161件] + 舞洲 [213件]



# 大阪市障害者スポーツセンターOSCDの**6 + i o n s**とコンセプト

## 基本コンセプト

## 管理運営の基本理念

障害のある人(子ども)の

スポーツ・レク活動による

★ 障害のあるだれもがいつひとりできても

主体性の尊重 権利擁護 地域生活の推進

仲間や指導者がいて いろいろなスポーツに親しめる施設

● リハビリから、自発的な・楽しむスポーツへ、そしてパラリンピックまで



■ 障害者スポーツセンターから地域へ、地域から障害者スポーツセンターへの双方向性

◆ いつでも どこでも だれでも だれとでも いつまでも

## スポーツとは？



# What's Sports . . . . ?



— 体育・スポーツ国際憲章／ユネスコ；1978—

### ◆ 権利であり文化であり、みんなのもの ⇔ **Sports for all**

- 体育とスポーツを行うことはすべての人の基本的権利
- 単なる筋肉運動ではなく、ヒューマニティやプレイを通じて、よりよく生きるために創造、分有、伝播する行動等の総合体 ⇔ 文化 = 社会に共有されるもの
- スポーツとは？ ⇒ 社会的所産 ⇔ みんなのもの
- スポーツとは？ ⇒ 仲間や相手と共に創る活動の世界
- スポーツとは？ ⇒ 親睦、触れ合い、共感の獲得の場



### ◆ **Sports-man-ship** と **Human-rights**

- スポーツを通じた人と人との出会い
- スポーツを通じた触れ合いと相互理解
- 相手を認め、讃え合う心



### ◆ **Sports for all** ⇔ **to live together** = **共生** ⇔ **Normalization**